

## ようこそ鶴見大学歯学部へ

新入生の皆さん、保護者やご家族の皆様、ご入学おめでとうございます。歯学部の教職員を代表して心からお慶び申し上げます。皆さんは将来、歯科医師になるという高い志を持って入学されたわけですから、新しい時代を切り拓く医療人となるよう皆さんには大きな期待が寄せられています。春爛漫のこの佳き日に、健康長寿に寄与する歯科医療の明るい未来に大きな夢を抱いて欲しいと思います。

さて、入学してすぐに厳しい話となりますが、皆さんが歯科医師になるためには、臨床実習に必要な Student Dentist の資格を得るための4年次に実施される共用試験と、卒業時には最終関門となる歯科医師国家試験に合格しなければなりません。これらふたつのハードルを跳び越えるためにも、毎日の講義や実習を休むことなく真摯に受講し、理解できないことがあれば先延ばしせず、その日のうちに担当教員に質問したり、教科書を紐解くことが大切です。大学は「学びの場」であり、「歯学生に求められていることは何か」をいつも自問自答しながら、ぜひ前向きに取り組んで欲しいと希望します。

コロナ感染が終息しなければ、今後もオンライン授業が実施されることとなりますが、誰もいない自宅では自らを律して学習する強い意志が必要になります。ぜひ受け身ではない積極的な能動学習をしていただきたいと思います。私たちも魅力あるオンライン授業を提供するよう努めます。

一方、大学生活は勉強ばかりでは不十分です。クラブ活動やボランティアなどの課外活動にもぜひ参加してもらいたいと思います。大学生活で培う先輩、後輩の上下関係や友人との交流で得られる経験は大学生活を充実させるとともに、その後の皆さんの人生の大きな糧となることでしょう。私自身も大学時代の友人とは今でも定期的に会合し、学生時代に思考を戻して語り合うことがあります。かけがえのない財産だと思っています。また、本学の誇る図書館を利用して、たくさん読書をしてみてください。論理的な思索が身につくだけでなく、何かに迷った時に問題を解決する有益な示唆を得ることができるはずです。

大学院に入学される皆さんには、大学卒業後もなお学問を追求しようとする向上心に改めて敬意を表したいと思います。現在の歯科医療は膨大な基礎研究や臨床研究の成果を記述した科学論文をもとに発展してきました。大学院を修了するためには必ず学位論文の発表が求められますが、論文執筆は研究者が自己表現する絶好のチャンスであり、未来永劫、著者の名前はその研究領域に刻まれることとなります。論文作成の機会を与えられたことに喜びを感じながら、執筆作業を楽しむことこそが、大学院生に与えられた特権でもあるわけです。ぜひ、4年間の集大成ともなる渾身の学位論文を作成され、それぞれの専門分野で高く評価されることを心から期待しております。

未だ先行きの見えないコロナ禍でもありますので、健康には十分に留意して、特に一人暮らしとなる学生さんは規則正しい生活を心がけて下さい。ここ鶴見の緑濃きキャンパスで有意義な学生生活を送られることを切望し、祝辞とさせていただきます。

令和4年4月5日  
歯学研究科長・歯学部長  
大久保 力廣

